

鈴鹿市立明生小学校

明生の旗高く

＜ 学校教育目標 ＞

地域とともに

明るく元気に生きる

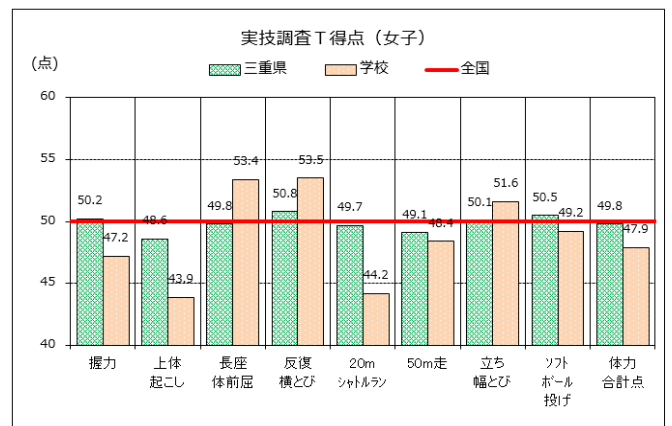
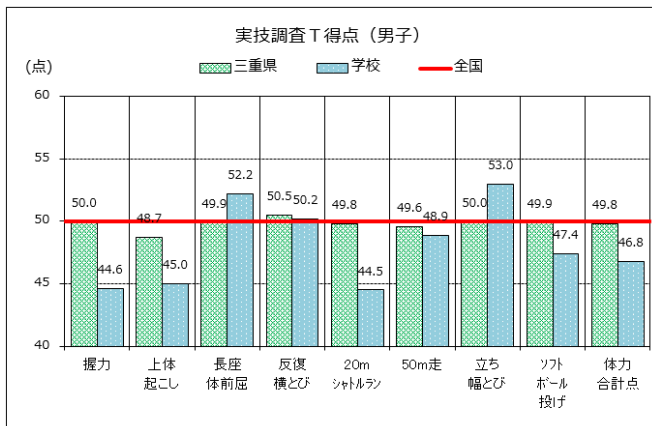
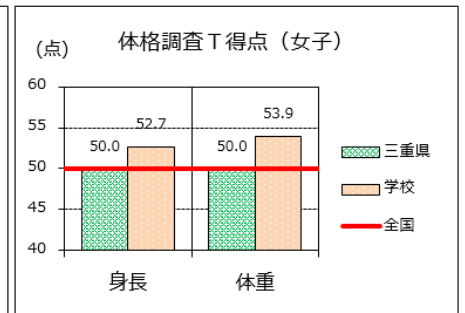
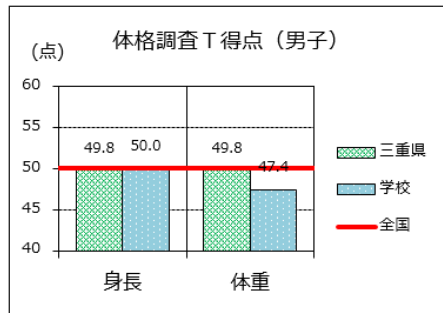
明生の子

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

5年生を対象に実施された体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が公表されました。

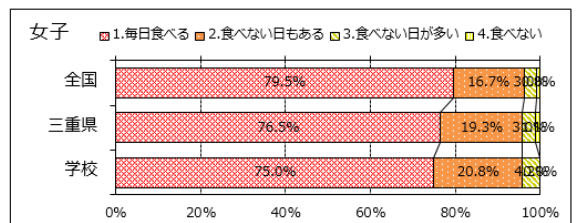
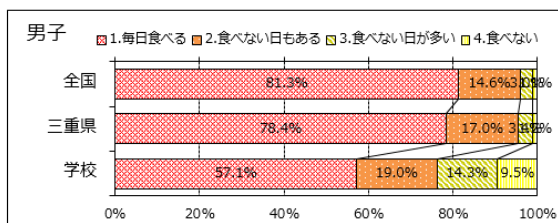
本校の5年生は体格的には男子の身長はほぼ平均、体重は少し軽い、女子は身長・体重とも平均を上回っています。

調査内容は「握力」「状態起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」があり、男女ともに「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」で全国平均を上回っていました。

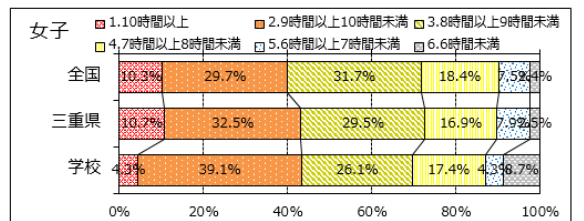
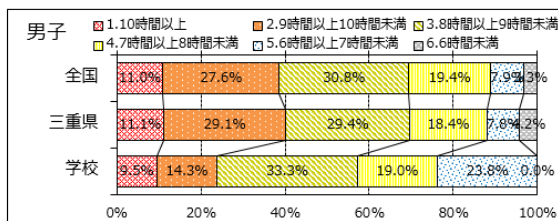


児童質問紙では、男子の朝食の喫食率が低いことや男女ともに睡眠時間が短い傾向にあることが心配されます。

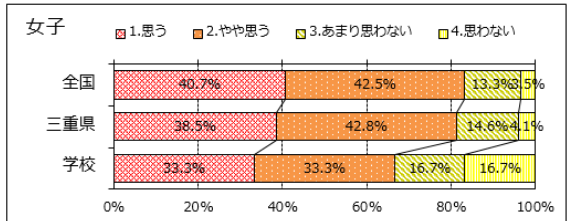
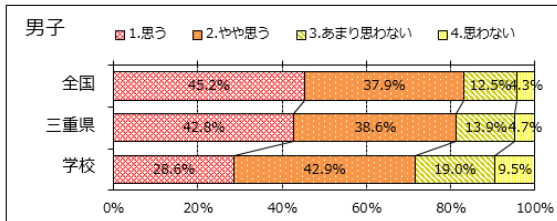
Q6. 朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



Q7. 毎日のくらいねていますか。



Q17.保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送れていると思いますか。

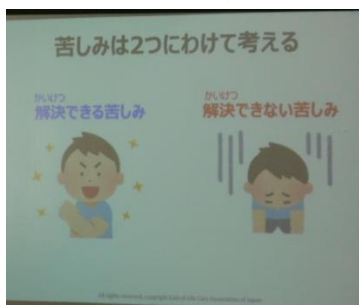
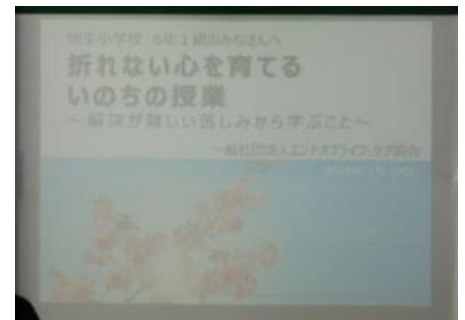


しかし、子どもたちは自分の生活スタイルについて「運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送れていると思いますか。」の問いでは自分の生活習慣に課題があると自覚できていることもうかがえるので、改善できていることに期待したいと思います。

6年生 いのちの授業

1月24日の授業参観で6年生は一般財団法人エンドオブライフ・ケア協会の方からの「折れない心を育てる『いのちの授業』」を受講しました。

6年生には少し難しい部分もあったかもしれませんが、4月から始まる中学校生活の中で、つらいことや苦しいことで心折れそうになったときに思い出して、自分の支えとして役立ち、そのことで自分自身を傷つけることなく、大切にしてくれたりいいな、と思いました。



内容としては、「なぜ苦しみが起きるのか」から始まり、苦しみが原因で心折れそうなとき、どのように対応すればいいのかを考えました。「苦しみ」とは「理想」と「現実」の開きからくること。その「苦しみ」は「解決できる」苦しみと「解決できない」苦しみに分けて考えることが必要になること。そして、「苦しみ」があっても「支え」があればおだやかになれる。支えになるものとしては、「支えとなる関係」「選ぶことができる自由」「将来の夢」があること。これらのことを教えていただきました。

2月の主な行事予定

3日(月) あいさつ運動・委員会
10日(月) よみきかせ
11日(火) 建国記念の日
12日(水) 入学説明会

14日(金) 学校運営協議会
23日(月) 天皇誕生日
24日(月) 天皇誕生日振替休日
26日(水) ボランティアさん感謝のつどい